



# 世界冬の都市市長会 World Winter Cities Association for Mayors 広報誌

2012年  
11月発行

〈世界冬の都市市長会事務局〉  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市総務局国際部内 TEL 011-211-2032 FAX 011-218-5168  
e-mail : wwcam@city.sapporo.jp URL : http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/

## 第16回市長会議の開催計画案が示されました。

世界冬の都市市長会は、2012年8月3日から5日までの間、2012年実務者会議を韓国の華川（ファチョン）郡で開催しました。今回の会議では、2014年1月に華川郡で開催予定の第16回市長会議の開催計画案について同郡から説明があった後、会議参加都市と協議を行いました。また、会議のテーマについて、自然環境の保全とその活用を両立させ、持続可能なまちづくりの実現に向けて議論する提案が華川郡からありました。

### 【第16回市長会議の開催計画案の主な内容】

- 会議日程：2014年1月15日(水)～17日(金)の3日間
- 会場：華川体育館
- 会議テーマ：「冬の都市における“ありのままの自然”と“資源としての自然”を保全し、それらを将来に渡って活用していける有効な方法について」



華川実務者会議

#### 【会議テーマの選定理由】

冬の都市が直面している大きな課題として、地球規模での気候変動により冬の都市において環境変化が起きていることが挙げられます。急速に産業化が進化した時代において、天然資源は、経済発展の道具として都市の拡大に利用されてきましたが、今では、地球全体に係わる副作用の原因となりつつあります。人々がこれからも同じように生活していけるように、会員都市をはじめとする世界の冬の都市は、この問題の解決に向けて最優先で議論しなければならないと考えます。

- 市長会議のプログラムの一部として、下記の2つをテーマとしたフォーラムを開催します。フォーラムには会議参加都市の代表者のほか、専門家や華川郡の住民などが参加する予定です。



次回市長会議計画を提案する華川郡・イ・ヒョンスク課長

#### 【フォーラムのテーマ】

- セッションA：自然環境保護活動を通じた「冬の都市」のイメージアップ
- セッションB：資源としての自然を活用した観光コンテンツの充実と観光産業の促進

- 会議では、英語と韓国語の資料が用意され、英語、中国語、韓国語、日本語で同時通訳されます。
- 会議登録料及び宿泊費については、後日決定します。

※上記の会議開催計画案は現段階のものであり、今後、内容の一部が変更になる場合があります。



ひまわり公園



華川の中央を流れる北漢江（華川川）

## 2012年華川実務者会議実施報告

華川実務者会議には、世界各地の6か国13都市から36人が参加しました。会議では、第16回市長会議開催計画案についてのプレゼンテーションが行われたほか、2012年1月にモンゴル・ウランバートル市で開催された第15回市長会議の報告や2014年1月の華川市長会議までの間に各会員都市が取り組む環境保全に関する行動目標の発表などが行われました。

○会 期：2012年8月3日（金）～5日（日）

○会 場：華川社会福祉センター（韓国・華川郡）

○参加者：6か国・13都市・36人

国名	都市名
中国	長春市、ハルビン市、ジャムス市、チチハル市、瀋陽市
エストニア	マールドゥ市
日本	松本市、札幌市
モンゴル	ウランバートル市
韓国	華川郡、太白市、麟蹄（インジェ）郡
アメリカ	アンカレッジ市

※韓国の麟蹄郡は、オブザーバー参加



会議参加者による記念撮影

### ○会議内容

- (1) 新規入会都市「松本市」の都市紹介
- (2) 第15回市長会議の開催報告（2012年1月、モンゴル・ウランバートル市で開催）
- (3) 第16回市長会議の開催計画案に関する協議（2014年1月、韓国・華川郡で開催予定）
- (4) 世界冬の都市市長会の運営に関する協議
- (5) 活性化事業について（韓国・華川郡の取り組みを発表）



華川・丸木舟夏祭り会場

## 市長会の運営に関する協議

2012年1月のウランバートル市長会議で決議された環境保全に関する行動目標の設定、本会の活性化策の進捗状況について事務局から報告し、意見交換を行いました。

### 【環境保全に関する行動目標の設定について】

2012年1月のウランバートル市長会議で、エネルギーと熱の効率的な利用及び省エネルギーに関する市民への啓発活動について、各会員都市が可能な範囲で数値目標を設定し、目標に対する取り組みを次回市長会議で報告し合うことが決定されました。これを受けて、長春、ジャムス、マールドゥ、札幌、カウナス、華川、太白の7都市が行動目標を設定しました。各都市は行動目標の達成に向けた取り組みを進め、2013年夏に札幌で開催予定の実務者会議で中間報告を行い、2014年1月の華川市長会議で最終報告を行う予定です。

### 【各都市の行動目標（抜粋）】

- 都市環境、インフラの整備を行い、生活環境のさらなる向上を目指す。（2015年までの目標）〔中国・長春市〕
- 風力発電の導入 870,000 KW 〔中国・ジャムス市〕
- 環境保護、17MWの発電増加、50MWの発熱増加を目指したごみ焼却計画の策定を行う。〔エストニア・マールドゥ市〕
- 学校など市有施設における太陽光発電導入 180か所、約2,600 KW 〔日本・札幌市〕
- 市内の照明システムの改善、最新設備の導入により、2010年～2015年の期間で、深夜照明の電力を50%削減する。〔リトアニア・カウナス市〕
- ピークシーズン（6月～9月）における公共建物の電力使用を毎年5%削減する。〔韓国・華川郡〕
- 2011年から2014年までの間に、新エネルギー及び再生可能エネルギーの生成量を360%増加させる。〔韓国・太白市〕

## 活性化事業報告

2010年ウランバトル実務者会議で承認された韓国・華川郡の「世界冬の都市市長会PRプロジェクト」について、現在までの活動報告と今後の計画について発表が行われました。

毎年1月に開催されている華川郡の冬の風物詩「やまめ祭り」では、今年、祭り会場内に設けられた世界冬の都市広場に本会の活動及び会員都市を紹介する20枚のパネルを展示しました。祭り期間中、世界冬の都市広場には華川郡内外から36,000人以上が訪れ、気候や生活環境が似ている会員都市の様子や市長会のこれまでの取り組みなどを興味深そうに見ていました。

2013年及び2014年もやまめ祭りに併せて、本会の活性化プロジェクトを実施していく予定です。



やまめ祭りの会場内に展示された会員都市紹介パネル

## 環境保全小委員会報告

華川郡実務者会議で、長春市が事務局を務める環境保全小委員会の報告が行われました。

この小委員会は、特定のテーマについて研究・調査を行う絶好の機会であると会員都市の評価を受けており、その成果は冬の都市市長会会員都市に利益をもたらすことになるでしょう。

長春市環境保護局の王曉東副局長は、小委員会が調査している2つの分野、「冬季の大気中粒状物質の発生原因」と「融雪剤の使用による環境影響」について、進捗状況を報告しました。

王副局長は、「本小委員会では関連調査を2014年1月までにはすべて完了し、本研究による成果はすべての冬の都市にとって大きな利益になるだろう」と述べました。世界の冬の都市は、大気汚染と降雪という大きな課題を同様に抱えており、それに対する解決策を示すことは、環境問題への対処に向けた大きな鍵となります。長春市は本研究での経験やノウハウを会員都市と積極的に共有していきます。



小委員会でプレゼンを行う長春市環境保護局の王曉東副局長



長春市のプレゼン

## 新規の会員都市をご紹介します

### ヴィームシ市の紹介

ヴィームシ市は、北ヨーロッパのエストニア共和国にある都市で、2011年5月1日に世界冬の都市市長会に入会しました。ヴィームシ市は、面積72.9平方キロメートル、大陸と陸続きの部分と多くの島々から成っています。エストニア全体の人口は約132万人ですが、ヴィームシ市の人口はおよそ18,000人で、これはエストニア国内で7番目に多い数字です。人口のうち、4人に1人が18歳以下で、若い人が多い街です。

そのため、ヴィームシ市は若い世代の教育に力を入れています。市の予算を教育関連に手厚く配分し、よりよい教育環境の整備に努めています。例えば、ヴィームシ芸術学校は25年の歴史を持ち、約100人の学生が芸術を学んでいます。また、多彩な課外活動もヴィームシ市の特色で、文化センター及び青少年センターでは老若男女たくさんのグループが活動しているほか、地域のスポーツクラブも活発に活動しています。

ヴィームシ市は、緑溢れる自然環境を大切にしている都市です。そして、エストニア及びバルト海の人たちの長きに渡る歴史や文化、その暮らしぶりを知ることができる博物館や資料館など、見どころがいっぱいです。



緑豊かなヴィームシの街



ヴィームシの位置



芸術学校での授業風景

### 松本市の紹介



国宝松本城と日本アルプス



冬の国宝松本城

本会の事務局がある札幌市とは空路によって結ばれ、信州まつもと空港から新千歳空港まで、約1時間30分で行くことができます。

松本市は、長野県のほぼ中央に位置する県内第2の都市で、築城400年の歴史を誇る国宝松本城、国重要文化財の旧開智学校、また景勝地「上高地」などを有し、毎年多くの観光客が訪れます。そして、「学問」、「芸術」、「山岳」の3つの特色をもつ都市です。

また、新たな松本市総合計画において、将来の都市像に「健康寿命延伸都市・松本」を位置付け、互いに助けあい、学びあい、安心して暮らせる持続可能なまちの実現に向け、20年、30年先を見据えた「成熟型社会の都市モデル」を目指しています。

日本の松本市は、2012年8月1日に世界冬の都市市長会に入会しました。日本は、島国ですが、その中で最も大きい島「本州」のほぼ中央に松本市があり、人口約244,000人の都市です。松本市は、日本アルプスと山々から流れる清らかな川などの豊かな自然に恵まれた都市です。山々に囲まれているため、市域の61%が山林で、内陸性気候に属しています。地理的には、東京と名古屋の間に位置しており、電車で、東京から約2時間30分、名古屋から2時間かかります。また、



松本の位置



松本駅と駅周辺の様子